

平成 29 年 2 月 1 日 (水)
名古屋市健康福祉局健康部保健医療課
担当：大島・坪井
内線 2631 電話 052-972-2631

名古屋市内でインフルエンザ患者の報告数が 急増しています！

— 早めの予防と受診を心がけましょう！ —

1 概要

本市では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、市内の70医療機関を定点として、インフルエンザの発生動向を調査しています。

この調査によると、平成29年第4週(1月23日(月)から1月29日(日)まで)における本市内の1 定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数* (16区平均) が 36.91と、国立感染症研究所の警報の指標である「30」を上回りました。区別では、10区において警報の指標である「30」を、6区において注意報の指標である「10」を上回っています。

今後、本市内において、さらなるインフルエンザ患者の増加が予想されますので、予防と早めの治療を心がけて、感染の拡大を防ぐよう心がけることが重要です。

※1 定点医療機関当たりの報告数：

定点医療機関 (市内70医療機関) からの1週間の総報告数÷定点医療機関数

2 インフルエンザについて

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性呼吸器感染症で、現在、国内にて大きな流行を引き起こすインフルエンザウイルスはA/H1N1亜型 (いわゆるA/H1N12009)、A/H3N2亜型 (いわゆる香港型)、B型の3種類があります。感染経路には、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。感染後、1～3日間程度の潜伏期間を経て、発熱 (38℃以上)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然出現し、咳・鼻水などの上気道炎症状が現れます。1週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。高齢者や乳幼児などは、重症化することがありますので、特に注意が必要です。

3 インフルエンザの予防と治療について

・予防するには…

- 人ごみ等への不要不急な外出を控え、帰宅時には手洗い・うがいをしましょう。
- バランスのよい食事、適度な運動、十分な睡眠をとり、体調を整えましょう。

・早めの治療を…

- かかったかなと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。
- 安静にして、十分な睡眠をとり、水分を補給しましょう。



・感染を広げないために…

○感染を広げないためにも、「咳エチケット」を守りましょう。



～『咳エチケット』とは～

◎症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努めましょう。

◎咳・くしゃみの際にはハンカチやティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。

◎使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。

4 その他

(1) 本市のインフルエンザ流行状況等は、名古屋市公式ウェブサイトの下記 URL にも情報を掲載しております。ご参照ください。

ア 感染症発生動向調査からのインフルエンザ発生状況について

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-9-0-0-0-0.html>

イ 集団かぜによる学級閉鎖等の状況について

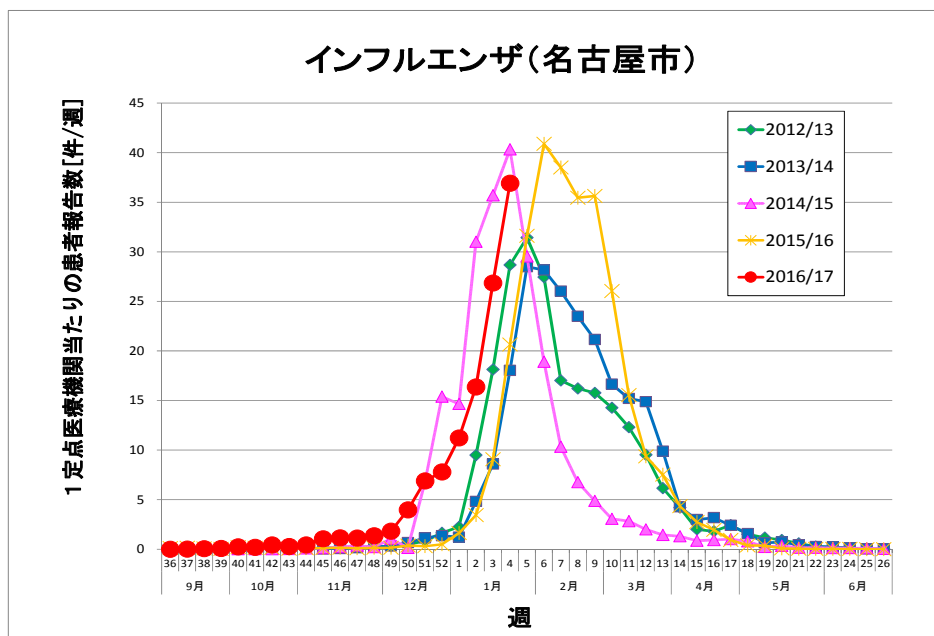
<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0.html>

(2) 全国のインフルエンザ流行状況等は、下記の厚生労働省の URL をご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html>

5 本市におけるインフルエンザ発生状況

(1) 1 定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数



(2) 本市全域における1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数
(過去3週間)

	名古屋市	愛知県 (本市を含む)	全国 (愛知県を含む)
定点医療機関数	70	195	約5,000
2週(1/9-1/15)	16.36	24.74	15.25
3週(1/16-1/22)	26.86	42.64	28.66
4週(1/23-1/29)	36.91	—	—

注1 「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準。
注2 愛知県内では、平成29年1月11日より春日井保健所管内等で「30」を上回ったため「インフルエンザ警報」が発令されている。

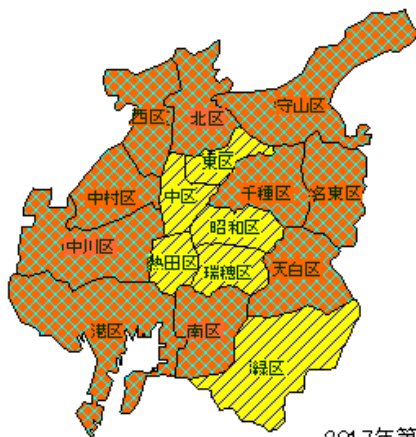
(3) 区別における1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数
(過去3週間)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和
定点医療機関数	5	4	5	4	5	4	5
2週 (1/9-1/15)	16.60	14.25	9.40	8.25	23.40	7.75	11.20
3週 (1/16-1/22)	28.60	19.50	16.60	25.50	32.60	11.25	22.20
4週 (1/23-1/29)	43.40	28.00	31.00	33.75	42.40	16.25	22.80

瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
5	4	4	4	4	5	4	4	4
8.60	12.25	19.75	20.75	63.75	14.60	8.25	14.75	11.75
11.20	21.25	34.50	36.50	78.25	32.00	11.50	20.75	32.00
14.20	28.00	50.25	44.00	85.75	52.60	29.75	30.50	41.75

注1 「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準。

(4) 各区のインフルエンザ患者報告状況
インフルエンザ



定点あたり患者数(人)	色
10未満	白
10以上30未満	黄
30以上	橙

2017年第4週

6 集団かぜ（インフルエンザ様疾患）による学級閉鎖等の措置状況

平成28年10月13日、今シーズン初めて、北区の小学校（市立）より集団かぜ（インフルエンザ様疾患）による学級閉鎖の措置を実施するとの連絡がありました。

本日は12時までに、6施設で学級閉鎖等の措置が実施されています。

（1）本市における今シーズンの集団かぜの発生状況（平成28年10月13日以降）

	休校 （園）数	学年閉鎖校 （園）数	学級閉鎖校 （園）数	計
保育園				
幼稚園	1	3	17	21
小学校		30	178	208
中学校		5	30	35
高等学校			16	16
その他		2	3	5
総計	1	40	244	285

（2）本市におけるインフルエンザウイルス検出状況

- ・10月13日学級閉鎖措置を実施した市立清水小学校（北区）の生徒より、A香港型インフルエンザウイルスが検出・分離されています。
- ・11月7日に学級閉鎖措置を実施した市立藤森中学校（名東区）の生徒より、A香港型インフルエンザウイルスが検出されています。
- ・12月5日に学級閉鎖措置を実施した市立鶴舞小学校（昭和区）の生徒より、A香港型インフルエンザウイルスが検出・分離されています。
- ・12月12日に学級閉鎖措置を実施した市立中根小学校（瑞穂区）の生徒より、A香港型インフルエンザウイルスが検出・分離されています。
- ・1月16日に学級閉鎖措置を実施した市立中川小学校（港区）の生徒より、A香港型インフルエンザウイルスが検出されています。